

令和5年度 第24回「千代野地区 白山市ミライ会議」概要

日 時：令和5年11月21日（火） 19：30～20：30

場 所：千代野公民館

参加団体等：千代野あじさいの会、千代野まつり保存会、千代野文化協会、千代野音頭保存会、千代野スポーツ協会、千代野地区社会福祉協議会、交通安全協会千代野支部、千代野枝の会、千代野GGOの会、千代野はいかい対策委員会、千代野まちづくりネット、北消防団北星分団、防犯協会千代野支部、千代野小学校PTA、各町内会長、市町会連合会、公民館長など

発言【1】

あじさい会は、「道と川の美化パートナーシップ制度」を適用し、千代野地区の体育館や公園、公共的な施設の周りの道路の作業を年2回ほど行っている。毎回、申込書の提出と実施作業の報告書の提出を求められているが、何十年も同じ事をやってきており、同じ内容の書類の提出を無駄に感じている。手続きが簡単にできる申請内容でお願いしたい。

【市】

制度を利用するにあたり、公金を取り扱っているので、用途について監査委員などに説明ができるように報告自体を無くすことはできませんが、スマホやパソコンからの電子申請で受付や報告書の提出ができるように今後検討していきたいと思います。

発言【2】

千代野でも町内によっては、高齢化率50%に近づいているところが出ている。高齢化社会に対する考え方、あるいは施策等があれば、聞きたい。

【市】

高齢者の方に対して一番意識していることは、健康寿命を伸ばすことであり、そのために現在市では「あたまとからだの健康増進事業」を行い、健康な状態を長く続けられるような取り組みをしています。

高齢者の方に対する施策については、3年毎に高齢者福祉計画と介護保険事業計画（合わせて「ふるさと安心高齢者プラン」）を策定することになっています（現在、令和6～8年度の計画を策定中です）。高齢化が進む中、介護予防への取り組みや介護が必要な方への対応（介護施設の整備など）及び必要な介護保険料等について、市の方向性を示した内容となっています。

その他、市では高齢者の方が健康障害をおこさず、自立した生活を送れるよう、75歳以上の方を対象に長寿健診を行い、生活習慣病予防及び糖尿病等の重症化予防に努めております。また、健康づくりや心身機能の低下予防のため、ウォーキング事業等を実施し、健康寿命の延伸を目指しております。

発言【3】

- (1) 人口維持の今後の取り組みとして、保育料の無償化を「第2子から」より「第1子から」にした方が、白山市への転入者が増えると思うので検討して欲しい。
- (2) 千代野地区は40年の歴史の中で緑が多くなりすぎて、木の枝に覆われている。伐採の要望を出しているが一向にすすまない。緑地の整備を進めてほしい。

【市】

- (1) 10月より第2子以降の保育料無償化がスタートしています。第1子からの保育料の無償化は、財源的に困難です。ご理解をお願いいたします。
- (2) 千代野地区においては樹木の剪定・伐採依頼が多く、その都度全て対応するのは難しいので、千代野町会連合会と協議し優先度の高い物から実施しています。

また、個々で様々な意見があることから、地区で集約し要望していただければと思います。

近年は年間管理とは別に市内で高木の予算を計上し、伐採や剪定を行っているところです。高木に成長した樹木の本数は多く、現状は倒木の危険性の高いものから順次伐採しています。

発言【4】

- (1) 千代野地区では中央公園を含めて8つの公園がある。中には雑草などで荒れ放題の公園がある。対策として、公園の管理に町会や団体に報奨金を支給する制度を取り入れてはどうか。
- (2) 中央公園に関して特に周辺の溝や配水管が土砂で埋まっており、大雨の時に水が流れずに川のようにになっている。今年の冬の暴風雪の際に多く松の木の枝が落ち、歩道をふさぐように散乱していた。実際に上から大きな枝が落ちてくると安全の面でも危険であるため、事故防止の観点から、伐採まではいかなくても通路に出た枝の剪定をお願いしたい。

【市】

- (1) 千代野地区においては、GGOの会や町内の方に、一部公園管理を手伝っていただいています。他の地区においては、町内会と毎年1回業務委託という形で草刈りをお願いしているところもあります。報奨金制度については、千代野地区の実

情も勘案し、近隣市町の状況を確認しながら、どのような形が良いか、研究していきたいと考えています。

- (2) 側溝や排水管の清掃に関しては、工事により根本的に解決できないかも含めて検討していきたいと思います。サステイナブル・グリーン事業として、千代野町会連合会と協議を行いながら、毎年少しずつではありますが、支障木の伐採などを行っています。今後につきましても、市内公園全体的に優先順位をつけ計画的に対応していきたいと考えています。

発言【5】

ウォーキングで松任総合運動公園を利用している。昼間や夏場はいいが、夜になると暗い部分が目立ち、街灯はあるのについていないところはいくつかある。ウォーキングのルートに市が設定しているところだけでも直してほしい。

【市】

運動公園の照明灯については、夜間通行者が多いと考えられる駐車場から体育施設へのルートは逐一行っていますが、一度にまとめて修繕するのは難しいので、今後も計画を立てて更新していきたいと考えています。

発言【6】

千代野地区では10数年前に、各家庭に地番の札のようなものが配られ、それを家の見えるところに掛けていたが、現在はリフォームや改築が進み、地番の札はほとんどなくなった。地区の50周年記念として、予算をつけて地番表を復活させて欲しい。

【市】

表札や地番表については、地域コミュニティ、災害等の緊急時の対応や誤配を防ぐためには、有効であると考えております。

しかし、現在、プライバシーの保護が浸透してきているなか、住所等を不特定多数の人に見られるのが不安という方もいるため、市としては表札や地番表を掲げることは、個人の判断に委ねたいと考えております。

このことから、市からの配布については考えておりませんので、ご理解をお願いいたします。

発言【7】

ゼロカーボンアクションに関して、市の庁舎として、太陽光パネル設置などの

予定はあるか。

【市】

今後、防災機能の強化のため市本庁舎増築工事を予定していますが、増築棟には、太陽光発電設備の設置を予定しており、防災の拠点となる施設の為、安定的に電気を供給できる発電機の導入を予定しています。その他、本庁舎の電灯のLED化を令和7年度に実施予定をしております。

その他、市の公用車について買い替えの際は、電気自動車やハイブリット車を購入するなど、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロとする、ゼロカーボンシティの実現を目指して施設等の整備を図っております。

発言【8】

千代野地区は後期高齢者の割合が4割を超えている。4月から地域コミュニティ活動が始まるが、現在の千代野公民館では設備等が未だ不足しているものが多く防災などの面で不安が多い。高齢者の存在を見据えた防災計画を考えてほしい

【市】

防災対策における日頃からの備えとして、地区単位で自主的に行う防災活動と災害時に連携して対応できる体制づくりなどの取り組みは非常に重要だと考えています。

千代野地区の地域コミュニティ組織は、令和2年度に千代野まちづくりネットが設立され、独自のアンケート調査やワークショップなどで課題を整理し、親子防災訓練の実施や個別避難計画の検討など、具体的な活動にも鋭意取り組まれています。その他、町内会連合会、民生児童児童委員協議会、福祉協力員などの関係団体が連携して災害時の支援が円滑に行われるよう高齢者などの要支援者ごとに個別避難計画の策定にも取り組んでいただいています。

市としては4月から公民館がコミュニティセンターへ移行し、白山市地域コミュニティ推進交付金を交付するなど、多様な住民が地域づくりに一層参画できるよう支援してまいります。

今後も地域防災力向上のために地区自主防災組織等と連携を取りながら、地域住民に寄り添った安全・安心のまちづくりを進めていただきたいと考えており、これまで以上に地域の皆様方と行政が相互に連携・協力を図りながら、そして一体となって、防災・減災への取り組み、「災害に強いまちづくり」を推進していきたいと考えています。